

ブルーベリーの生育良否の実態

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

果樹 - ブルーベリー - 生理障害、病害虫発生

2 担当者

一條茂雄・大竹真紀・増子俊明

3 要旨

地域産業の6次化や観光の素材としてブルーベリーが注目されているが、生育不良や枯死する事例があるため、現地の実態を 調査した。

(1)樹の生育良否は、樹齢よりも、ほ場条件や栽培管理によって差が見られた。特に水田隣接の過湿土壤のほ場、地表面管理で有機物マルチが無く土壤の硬いほ場、地際部の主幹に虫害(カミキリムシ類、コウモリガ)を受けているほ場では生育不良や枯死が多かった(表1)。

(2)夏～秋期の高温乾燥時期に適度なかん水管理をしているほ場では、根の生育が良好であった(表2)。

(3)積雪寒冷地のほ場では、積雪で埋もれた部分が少なく枝の露出が多い樹で枝先端の寒枯れが多かった(表3)。

表1 ほ場の条件及び樹の生育 (2011年)

調査場所 (年)	樹齢	前作	周辺環境	栽培 管理	地表面 管	樹の生育良否割合 (%)					備	考
						良	やや良	不良	枯死	欠木		
Aほ場	11	果樹	果樹園地	良好	有機物マルチ	99	1	0	0	0		
Bほ場	8	畑地	畑地	普通	有機物マルチ	34	33	21	2	10		
Cほ場	10	水田	水田	普通	有機物マルチ	53	20	25	0	2	カイガラムシ類、野鼠	
Dほ場	9	水田	水田	不足	有機物マルチ	3	26	29	17	25	滯水有り過湿土壤、早期落葉	
Eほ場	7	畑地	畑地	不足	マルチ無し除草	23	43	33	1	0	早期落葉	
Fほ場	11	畑地	森林	普通	有機物マルチ	53	22	10	7	8	カミキリムシ類、コウモリガ	

* A～Dほ場：会津、E・Fほ場：中通り

表2 かん水方法と根の発育状況 (2012年)

調査場所	かん水管理方法	上根の伸長 (cm)	細根発生状況		上根の状況
			上根	下根	
Aほ場	点滴+ホース (7月上旬～9月下旬)	99	多	少	有機物マルチに細根が中までからむ 隣接樹と交差するまで根は伸長
Cほ場	無	38	中	少	有機物マルチに細根はからまない 隣接樹と交差するまでの伸長無し

*上根は有機物マルチ付近の表層の根

表3 寒枯れの状況 (2012年)

調査場所	積雪	寒枯れ枝本数/樹	冬期間の樹の状態
Cほ場	少	46	雪が吹き上がり樹の露出部多い
Cほ場	多	8	雪の吹きだまりで埋もれた状態

*同一列調査

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～24年度
- (2) 研究課題名 ブルーベリーの安定生産技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 終了参考

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度～24年度センター試験成績概要